

東京バッハ合唱団 月報

[第 702 号] 2020 年 12 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101

Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3- 47604

Mail: office@bachchor-tokyo.jp http://bachchor-tokyo.jp/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No.702

December 2020

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

東京バッハ合唱団、初の YouTube 公開

特別演奏会

《クリスマス・オラトリオ》とカンタータ第 110 番

新型コロナウイルスの蔓延のなかで、特別な 2020 年が暮れようとしています。

そんな中、私たちの合唱団にとっての本年唯一の演奏会が、去る 12 月 5 日、荻窪教会で開催されました。なんどもお伝えしたとおり、これは、無聴衆で上演され、録画録音されたものを、後に編集し、YouTube に載せて公開しようとするものです。

そして予告どおり、去る 12 月 19 日（アドベント第 3 週の土曜日）午前 8 時に公開されました。合唱団にとっての初の試みです。この映像は、新年が明けてもしばらくは、専用チャンネルで公開をつづけます。当月報紙上からも、多くの方の視聴を呼びかけます。

創立 60 周年を 2 年後に迎えようとする当合唱団、30 センチ LP レコードが媒体の主力だった時代に歌い始めた多くの団員、そして同世代のオールド・バッハファンのご常連にとっても、このコロナ禍は、嫌でも IT（情報技術）との関わりを深めさせられたのでは？ かく言う筆者も、下欄の「ユーチューブの見方」を頼りに、公開映像にアクセスすることとなりました。

沖縄から北海道まで、日本国中にお住まいの後援会員のみなさま、団員 OB や月報ご愛読者のみなさま、どころか、ドイツや欧米の友人たち、世界中のバッハファンにお届けします。一緒にバッハ音楽で、メリークリスマス！

以下は、YouTube 映像の下段説明欄に添えた（「もっと見る」をクリックすると現れる）、おもに初対面の視聴者を念頭においた、ご挨拶です。

ユーチューブの見方（現在公開中）:

①インターネットで「東京バッハ合唱団」を検索 → ホームページ中央の「特別演奏会 (YouTube にて公開)」末尾の青色文字「YouTube チャンネル」をクリック → 東京バッハ合唱団チャンネル (動画リストから J.S. Bach「Unser Mund sei voll Lachens 喜び笑いあふれ」を選択)、以上。

②スマートフォンの場合。当欄のQRコードを読み込む → 東京バッハ合唱団チャンネル (以下、①と同様)



月報 2020 年 12 月号 CONTENTS

——特集 無聴衆オンライン特別演奏会——

- ・特別演奏会を終えて（団員の方々の感想）……p. 2
- ・団員の総力で実現（ドキュメントと資料）……p. 4



<クリスマスには、クリスマスのバッハを！>

・全国のバッハファンと合唱音楽愛好家のみなさまに、待降節のうちにクリスマス音楽の白眉とされる、J.S. バッハの《クリスマス・オラトリオ》とクリスマスのカンタータをお届けすることができました。

・コロナ下にあつてさまざまな活動が萎縮させられましたが、協演をこころよく引き受けてくださったオーケストラのみなさま、演奏会場として礼拝堂をご提供くださった教会のみなさま、多くの無理難題を乗り越えて収録と編集にあたってくださった制作の方、「どんな状況のなかでもバッハを歌い続ける」としたわれわれの覚悟に、共感を寄せて公式の助成事業に認定し、さらに後援のバックアップを実行してくださった杉並「区」のみなさま、みなさまのご厚意によって、無聴衆のオンラインコンサートが実現しました。心より御礼を申し上げます。

・そして何よりも、やがて 1 年にも及ぶこととなる長丁場の不安と忍耐のなかで、あるときは離ればなれの自宅で、その後は前後左右の仲間を気遣いながら、マスクをつけて恐る恐る声を合わせるといった練習をかさねて、本番の上演にのぞんだ合唱団員のみなさま、また様々な事情から練習への参加自体を控える苦渋の決断をなさった団員のみなさまの、それぞれの勇気とご努力にたいし、深甚の敬意を表したいと思います。

・本日よりしばらく、このチャンネルで、東京バッハ

合唱団の日本語演奏によるバッハのクリスマス音楽をお楽しみいただきます。このオンライン演奏会は、新型コロナウイルス感染拡大のために中止となった、われわれの第119回定期演奏会の代替企画です。収録にあたっては、演奏者の密と時間の停滞を避けるため、楽曲の演奏順、出演者の配置等に、大幅かつ大胆な工夫を凝らしましたが、この経緯や上演・収録方法の考え方については、当公演の公開用プログラムに詳しく掲載されていますので、あわせてお目通しいただければ幸いです。

(以下は、YouTube 上でお読みください)

特別演奏会を終えて

参加された、あるいは参加できなかった団員の声をお届けします(原稿の到着順)。

A 清水英子

今日は小雨の降る寒い一日でしたが、新しい経験のコンサート、大変お疲れ様でした。大村先生、演奏会係の皆さまはじめ関係者の皆さまの目覚ましい働きのお蔭で有意義で楽しい演奏会を経験することが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

B 久保庭重夫

今回の演奏会は、コロナ禍の中で最もやる事が危ぶまれた合唱を、多くの人の創意工夫と努力で成し遂げたもので、無観客ではありますがオンライン配信するという事が大きなモチベーションになりました。

最初は冗談かと思うようなアイデアが本当になってしまい、団員の能力も実に多種多様で私などは最後尾から振り落とされまいと付いて行くだけと言う有様でした。出来上がった配信映像を見るのが本当に楽しみです。

もう一つ、当初心配されていた団員の減少が起きなかったのは嬉しい誤算でした。何名かの方が休団されただけで、30名ほどの合唱団員にARSのオーケストラ、オルガン奏者合わせて総勢50名におよぶ方が参加され、記憶に残る演奏会になりました。

S 小谷泰子

無事に5日のコンサートが終わりほっとしました。このコロナ禍の中でバッハの音楽を教会で歌えたことは、嬉しかったです。練習には内心ヒヤヒヤしながら通いました。また最近94歳の義母の介護のために和歌山へ車で行っていますが、所沢ナンバーで肩身の狭い思いをしながらの生



■入り口での検温、手指の消毒、「健康状態申告書」への記入等でウイルス侵入を阻止。

活をあちらでもしています。

このような中で荻窪教会の方々が私達に会堂を貸してくださり、有り難い事だと感謝しています。これからの公演がどうなるかですが、教会であるのが、本来の意味あいからも良いのかと思われます。私達にとっても無理がないのではないのでしょうか。

A 白井昭子

5日には、新しい経験の演奏会に参加させていただきました。ありがとうございます。大村先生、健二さんをはじめ多くの素晴らしい団員の方々のおかげで、この私までが素晴らしい経験をすることができました。特にアルトは無理をお願いして、素晴らしいソロの曲を歌わせていただき、とても良い思い出になりました。ありがとうございました。

A 風岡和子

「ほら、この出だし、バッハの6度は印象に残るでしょ！」

オルガン教師のFは《幻想曲とフーガ》(BWV 534)を練習中にそう言った。私はそんなものかとその時はスルーした。ところが《喜び笑いあふれ》のアルト・アリア(第4曲)の出だしにハッとした。同じ6度だ!しかも歌詞の原語は、〈Ach Herr(おお 主よ)〉という大切な神への呼びかけだ。なるほど。ちなみに《クリスマス・オラトリオ》の白眉、テノール・アリア〈牧人らよ 行けやゆけ〉(第15曲)も出だしは同じ6度で始まっている。ついでに言うと、これら3曲はいずれも短調。短6度の方がやはりしみじみに迫る。

「あなたは歌わないね」と子供の頃から何人ものピアノ教師に言われた。ピアノを歌わせる? 曰く「なめらかに」「レガートに」ということだ。ある時オルガン教師のIは言った。「音と音の間に橋をかけるように。虹をかけるように」、なるほど。〈いかなればなれば我らを 求むるや〉[先のアルト・アリア〈Ach Herr〉以下の訳詞]、これをフレーズというのだ、と今さらながら納得している。

この2曲のアルトとテノールのアリア。前奏がやはり6度で始まり、それぞれオーボエとフルートが美しい旋律を奏でていたのが印象的だった。

S 荒井せつ子

無観客、録画、YouTube 配信、これまでとは全く違う演奏会をしようと思った時点ではどんな形になるのかさっぱりイメージが掴めませんでした。最も感染リスクが高いと言われている合唱演奏会をどのように安全に実施するのか、団員はZoom相談会を重ね、コロナ感染防止策に関する情報を集め、密にならない出演者の間隔をとり、配置を図面化し(松尾茂春さんの緻密なお仕事)、そのための演奏曲目の順序とタイムスケジュールつきの曲順表作成(室田悟さん、千晶さんご夫妻)、合唱でも大活躍の団員が、隠れた能力を存分に発揮して下さり感謝感激。

BWV110 冒頭合唱の歌詞〈喜び笑い溢れ 口は讚美に満つ〉、今も私の頭の中をグルグル回っています。

A 高野京子

12月5日、演奏会のプログラムが終わりに近づくと、緊張がほぐれ、豊かなる熱き思いと幸せ感に包まれ、感謝と感激で涙ぐみながら歌っている自分に気づきました。制約の中、多くの方々の智恵と努力の積み重ねにより、この時を迎えられたことに「感謝」の一言です。

この一年、何をやっても目に見えないコロナに縛られ、楽しかるべきことも、すっきりせず、抑圧に苛まれ、心晴れない日々でしたが、演奏会実現によって、もやもやしていた気持ちが一気に解放され、一年の締め、まさにふさわしい時を迎えました。この晴れやかな気持ちを大切に、前に向かって、バッハを歌い続けて行きたいと思います。

B 加藤剛男

12月5日に荻窪教会で「無観客演奏会」をするにあたって、合唱団では次のような対策をたてました。①全出演者の承諾、②借用楽器の中止と新規手配、③「杉並区」への助成申請、④感染対策ガイドライン作成、⑤パラビジョンとの新規契約、⑥独自の曲順の再編成。これらすべての緻密な準備により、当日は順調に実施され、団員の室田千晶さんの見事な進行のもと、成功の裡に終わりました。

カンタータ 110 番《喜び笑いあふれ》、および《クリスマス・オラトリオ》第1部～第3部の曲を通し、身体の底からあふれる躍動的な喜びに満たされました。大村恵美子先生のご指導に心より感謝いたします。

S 小口眞知子

異例づくめのこの1年。苦しむ者と共に泣いたり、自分の不甲斐なさに悩んだり。そのような日々の中でバッハを歌う時は至福のひと時でした。難しい曲に全神経・全呼吸を集中して歌う。本番は出られませんでした。少しずつでも上達し、他パートとうまくハマった時の喜び。特に2重唱を楽しく歌えるようになったのはとても嬉しかったです。

演奏会係の方々ありがとうございました。でも、練習にすら参加できなかった友もいます。コロナ流行下ゆえに健康上その他の事情で。皆と一緒に心の底から一心不乱に歌いたい。その日が来るのを待ちましよう！今苦しんでいる人に幸せがきますように。

B 本田茂樹

年始から COVID-19 蔓延により我々の日常がいつも容易くことごとく覆され、いつ普通の生活に戻れるのか分からない不安の毎が続いています。それは人類の対処しうる「限界」を我々に知らしめ、奇しくも我々の「新生」への大きな転機を啓示しているようにも思えます。真に人間的な生活に不可欠なものを求める新たな動きが芽生える中、最も内面的な芸術ともいえる

音楽、特にバッハのカンタータは我々に残された「精神の自由」の最後の砦なのかもしれません。

バッハとともに生の根源の中に入り込み、一

瞬の中にある無限の宇宙に触れると、何か神のようなものに常に魂が慰められ、艱難の軛から幾ばくか解放されるのを感じるの私だけではないと思います。

B 千葉光雄

今年は合唱団始まって以来の異常な年でした。その中でみんなの協力でよく演奏会を開催したとあらためて感動しています。私のまわりの音楽をやっている方々は、軒並み演奏会は中止か延期。練習さえなくなったところもありましたから。でもクリスマスの時期にはわが合唱団はやはり《クリスマス・オラトリオ》です。フルオーケストラでの冒頭合唱は本当に心に響きました。そしてバスパート全員で歌ったオラトリオの8番のアリア、カンタータ 110 の6番のアリアも、みんなの練習の成果が現われ、気持ちよく歌えたことも記憶に残ります。また来年も何が待ち受けているかもしれませんが、みんなで心を合わせ歌える喜びを実感していきましょう。

B 松尾茂春

合宿や演奏会が軒並み中止となる中、12月5日の無観客(録画)演奏会の実施は感謝である。今後希望を繋ぐとともに、動画配信により日本語でのバッハ演奏を広く発信する1歩となる。

今後の日々は「新しい生活様式」か? “Yes”であり “No”でもあると思う。

“Yes”: 内容に応じたリモート活用と実移動の切替、一律なマスメディアから多様なネット情報への情報源の転換。“No”: 人が集まり歌声を和する「古い生活様式」は継続する。一約100年前のスペイン風邪の猛威を経た当時の「新しい生活様式」の延長上に昨年までの我々の生活があったのだから。歴史を振り返れば、疫病により歌は失われなかった。これからもそうだろう。

T 林 貞敬

2020年12月5日、東京バッハ合唱団特別演奏会は、杉並区から新しい芸術鑑賞様式助成事業として承認と後援名義を受けた on-line 演奏会となった。

当合唱団の感染予防対策ガイドラインに基づき、出席者名簿管理、発熱があった場合は練習に参加しないこと、練習時の手指消毒の徹底、床および座席周辺の消毒。本番に向けて感染防止の意識向上と習慣づけを行った。



■CO2 濃度から「密」のリスクを察知(左)。湿度計でウイルス対策と喉の乾燥対策(右)。寒さには閉口したが、会堂全体の換気機能は万全だった。

会場（礼拝堂）の天井上に設置されている大型換気扇で会場内を減圧して、開放されている窓や出入口から新鮮な空気を取り入れ、天井上にあるダクトへ向けて、下から上へと向かう室内の空気の流れを作った。換気状況を把握するためには、呼気より発生する CO2 の濃度をモニターして、エアロゾルの速やかな排出が行われることを目指した。この換気システムを有効に生かすために、吐き出された呼気が左右に広がってしまう布製マスクではなく、呼気が上側に抜ける首掛けマウスシールドを全員が着用した。

音楽とは別の一面からこの演奏会を振り返ったとき、杉並区内でも多くのバッハ・ファンを獲得してきた当合唱団が、この伝統を絶やすことなく今回の特別演奏会を実施できたことは、大きな誇りである。

団員の総力で実現

月報ご愛読の皆さまはご存じのとおり、ことしの合唱団の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大により3月に緊急の練習休止、4月・5月と練習自粛の延長、6月にいったんようやく1パートずつ段階的に練習を再開、8月夏休みを挟んで、9月第1週より、回数を減らしながらも4声部そろっての練習を開始しました。この間7月に予定されていた都内2教会での夏季特別演奏会、8月の合宿と信州コンサートツアーが、いずれも延期ないしは中止となりました（予定曲目は来年6月の第120回定期演奏会に引き継がれます）。

さらに月報9月号は、<急告>として「12月の定期演奏会、本番は中止。代替に、ネット配信用の無聴衆演奏」とお伝えしました。感染の事態は悪化するばかりでしたが、外出自粛期間にはZoomなどを駆使してオンラインでの相談をかさね、コロナ下でのコンサート実現の方策を検討しながら自主的に役割が決まっていきました。以下に、本番収録の当日に至るまでのドキュメントの一端を、各役割からご紹介しましょう。

メイキング映像『演奏会に向けた感染対策』（㈱パラビジョン制作）もあわせてご視聴ください（YouTube 画面下、説明欄に URL あり）

47	WO-III-	28	コラール	主はなしたまえり	合唱	30	〇〇	〇〇	
48	WO-I-	8	アリア	大いなる主よ	B	8	〇		〇
49	WO-II-	23	コラール	みづかいとともに	合唱	30	〇〇	〇〇a	〇〇
50	BWV110-	6	アリア	めざめよ	B	8	〇〇	〇	〇
51	WO-II-	20	福音史家	たちまちみつかにいらに	T	6			
52	WO-II-	21	合唱	はえあれみかみに	合唱	30	〇〇	〇〇a	〇〇
53	WO-III-	35	コラール	よろこびみかみは	合唱	30	〇〇	〇〇	〇
54	WO-III-	24	合唱（反復演奏）	あまつきみよ	合唱	30	〇〇	〇〇a	〇
55	休憩。STB, Tp, Pk 退室。								
56	休憩終了。								
57	●アルト								
58	BWV110-	4	アリア	いかなればなれば	A	11		〇a	〇
59	WO-I-	4	アリア	そなえよシオン	A	11		〇a	〇
60	WO-II-	19	アリア	ねむれいとしきみこ	A	11	〇	〇〇a	〇〇
61	WO-III-	31	アリア	ひめよわがたま	A	11			
62	WO-III-	32	レチタティーヴォ	しかりわがたまよ	A	11	〇〇		
63	下入室。								
64	曲間。移動終了。								
65	WO-I-	2	福音史家	その頃よの人々	T	6			
66	WO-I-	3	レチタティーヴォ	今や花婿きたらん	A	11		〇〇a	〇
67	A, Ob, Vn, Va 終了。								
68	曲間。移動終了。								

■「オケ合わせと本番当日のタイムスケジュール（部分。全体はA3判）」（A 室田作成） 4

助成申請担当……杉並区の「新しい芸術鑑賞様式助成金」と後援名義の申請、報告資料の取りまとめ。入場料収入などが望めない中、この制度は、無聴衆上演の決断の引き金になりました。

感染対策班……最新の科学的所見によって、実用的かつ緻密なガイドラインを策定しました。各団体や自治体等にも優るほどの高度な内容となっています。

ユーチューブ・プロジェクトチーム……専用チャンネルの立ち上げから、字幕載せなどの映像加工と配信の実務を、最年少団員がほぼ独力でこなしました。

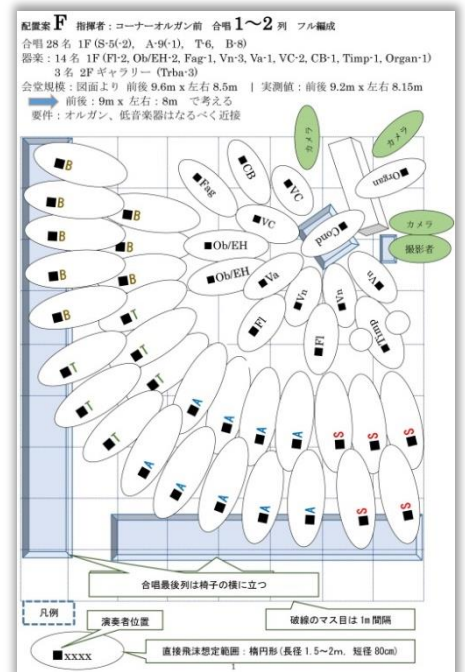
制作技術……録画録音から終了後の編集作業、高画質の画面づくりなど、当団とは30年以上のつきあいの㈱パラビジョンさんが担当。

演奏会係り……今回は、助成事業の審査基準をパスしつつ、感染ゼロを実現し、制作技術者（カメラマン）と一体となって、指揮者・器楽奏者・コーラスのパフォーマンスを100%引き出すための環境を整えることに、とくに苦心しました。

なかでも、出演者の「蜜」と時間的滞留を避けつつ、いかに効率よく演奏スケジュールをこなすかという課題に果敢に挑んだことを示すのが、演奏会係りメンバーの作成した2つの資料です。左表は「オケ合わせと本番当日のタイムスケジュール」。時差演奏をこなすための楽曲分割と演奏の時間割です。各作品の楽曲が編成等に従ってバラバラに組まれていることがお分かりでしょう。右上図は、礼拝堂の限られたスペースで、換気の空気の流れを計算しつつ、演奏者の間隔を最大限に確保するためのレイアウトです。壮挙の記念に月報にも留めておきます。これらの精密さと、各担当のネーミングの勝手放題さの対比が当合唱団の特徴。いわく、〇〇担当、〇〇班、〇〇チーム、〇〇係り。

*

忘れてならない協働者は、ARS（コレギウム・アルモニア・スペリオール・ジャパン）の有志のみなさんです。オーケストラのみなさんが、私たちの感染対策への信頼とバッハ音楽への敬意を表して、管楽器以外のメンバーまでマスクを付けずに本番の演奏に臨んでくださったことは、重大な決断であったはずですが、真意をお聞きしていませんが、コロナ禍への精神的な対し方の一つとして、大いに学ばされました。（大村健二）



■「Bach Chor, Tokyo/ARS 無観客演奏会(2020/12/5-6) 会場配置案(Rev.1.0) 改訂 2020/12/4」(B 松尾作成)